

障害児通所支援の在り方に関する意見等

一般社団法人

全国肢体不自由児者父母の会連合会

団体の概要

1. 設立年月日 昭和36年11月10日

2. 活動目的及び主な活動内容

(1)活動目的:肢体不自由児者の福祉増進を図ること

(2)主な活動内容:

①肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境を造る事業

・・・全国大会・ブロック大会(7地区)

②肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業

・・・機関誌(「いずみ」「わ」「療育ハンドブック」「全肢連情報」の発行)

③支部父母の会育成強化に関する研修事業と助成事業

・・・地域指導者育成セミナー・さわやかレクレーション等

④各種アンケートの実施

・・・新型コロナウイルス「医療・療育器材・障害福祉サービス」の実態と影響

・・・重度障害者対応共同生活援助の支援体制の在り方 他

3. 会員数等

地域の支部を47都道府県単位で組織化 社員は47名、会員数:約8千人

障害児通所支援の在り方に関する意見等

I 児童発達支援センターの位置づけについて

- 肢体不自由児にとっての児童発達支援センターは肢体不自由児の個々に理学療法、作業療法、言語療法等の療育やリハビリテーションを医療と連携し、身辺自立に向けサポートする所と認識している。
- 児童発達支援センターに医療型と福祉型があり、それぞれに適応する医師、職員が配置されている。
支援費制度障害福祉施設の利用を3障害を問わずとしたが、専門職員の配置が進まず、結局、従前の専門性に戻されたことから「福祉型」と「医療型」の分類を維持すべきと考える。
- 「医療型」は、肢体不自由児等の身体障害のある子どもの治療、療育、リハビリおよび親の障害受容の施設としての機能維持とを持ち、就学後のリハビリ体制の構築が必要と考える。「医療型」も発達障害などの情緒面やコミュニケーション面の障害にも十分に対応している。
- 児童発達支援センターは、積極性の差はあるが児童発達支援等に向けて、相談内容への対応を職員の質向上等の研修会や講座を設け参加者を募っているが少ないと聞いている。
報酬単価の設定は、両方になれば参加しないのではと推察する。
- 障害児通所支援利用者のサービス等利用計画は、児童発達支援センターが担っている。
- 年間相談の33%が幼児相談・検診から67%が幼稚園・保育所、任意の5歳児検診、学校、医療機関からの紹介となっている。(関東地区の1例)

II 児童発達支援・放課後等デイサービスの役割・機能の在り方について

- 児童発達支援は、就学前の子どもの対象とし、放課後等デイサービスは就学時の子どもを対象とし、各々の内容に違いがある。その内容に見合う職員が配置されているのか。児童発達支援には、栄養士の配置がなく通所時間が幼稚園並みでその後、空いている時間帯を放課後等デイサービスが使用していると聴いている。
- 同じ事業所が運営する場合、事業実施側に目的に対する認識について疑問がある。
- 放課後等デイサービスで事業者向け自己評価表、保護者向けにサービス評価表が作られている。
一部の市町村で独自の事業者向け自己評価表を作成しているところがあるが形式的、保護者向けサービス評価表は、自己評価表とサービス評価表が質の向上に役立つとのことで導入したが全く機能していないと聞いている。

障害児通所支援の在り方に関する意見等

Ⅲ インクルージョンの推進について

- 幼稚園、保育所との交流、連携は、当然であり、これまでも児童発達支援センターのケースワーカーが担っていて、それを組織的に評価(報酬として)することにより改善が図れると思えない。
それぞれの設置目的に従って実行することによりインクルージョンは生まれるものとする。
- 地域におけるインクルージョンは、環境的にその子どもたちの居住地範囲が望ましいことから、施設地の地域の方々への施設開放なり行事参加では不足と考える。
- 児童支援コーディネーターの働きで地頭発達支援センターと幼稚園・保育所との併行通園によりインクルージョンが進むことを期待する。

Ⅳ 障害児通所支援の支給決定の在り方について

- ケアニーズが高い障害児に支援を行った時の加算に使われる「5領域11項目」に「コミュニケーション力」「着替え」「医療的ケア」「読み書き」の項目を加えて見直しが必要と考える。
「歩行」に変更してください。
- 評価は、親とともにを行うことを期待する。

Ⅴ 事業所指定の在り方について

- 障害児通所支援の事業には、「児童発達支援」、「放課後等サービス」の他に「保育所等訪問支援」と「居宅訪問型児童発達支援」があるが総量として計画値を設定するのではなく、それぞれの見込み数を計画し、計画値を前提とせず見込みを超えた申請は、申請事由に十分に配慮し認めるのが良いと考える。